

2025 年 5 月 7 日

高次救命救急センターの入院診療を受けられた患者さんへ

「アセトアミノフェン中毒に対する医師と薬剤師の連携体制に関する調査」への協力をお願い

薬剤部では、下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2011 年 4 月 1 日～2024 年 12 月 31 日の間に高次救命救急センターにおいてアセトアミノフェン中毒で入院された患者

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2027 年 3 月 31 日

研究目的・利用方法：

本研究では、アセトアミノフェン中毒に対する治療法の現状を把握するとともに、薬剤部と高次救命救急センターの連携体制により、アセトアミノフェン中毒患者に対してどのような有用性があるか調査します。

研究に用いる情報の項目：

以下の項目について、診療録より取得します。これらはすべて日常診療で実施された項目になります。

一般身体所見：年齢、体重、性別、大量摂取薬剤名、摂取量、摂取時間、嘔吐、嘔吐までの時間

処置：胃洗浄、胃洗浄までの時間、活性炭の投与の有無、下剤の投与の有無、N アセチルシステインの投与期間

薬物検査：採血時間、アセトアミノフェン血中濃度

生化学検査：TP、ALB、CK、AST、ALT、LD、ALP、 γ -GP、T-Bil、D-Bil、CRP

研究に用いる情報の利用を開始する予定日：2025 年 5 月 9 日

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 薬剤部

氏名：鈴木 昭夫

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 薬剤部

電話番号：058-230-7091

氏名：山田 悠人

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係

〒501-1194

岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1

Tel：058-230-6059

E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp